

姫路海軍航空隊鶉野飛行場跡地を見学して



兵庫県隊友会東播支部は、今年の歴史ウォーク（史跡研修）で、兵庫県加西市鶉野町にある姫路海軍航空隊鶉野飛行場跡地の研修を令和4年（2022年）11月6日に計画開催いたしました。

今回の研修において、県内の各支部にも研修参加を呼びかけて多くの会員の参加を募りましたが、広い兵庫県内各地からの参加はなかなか難しいこともあり、県本部から小川会長、小林事務局長、中筋次長（神戸東支部）、神戸東支部から元会長の熊谷氏、栗原支部長、村田事務局長、朝原特別会員にお越し頂きました。東播支部からは石田支部長以下19名の会員と家族1名に参加して頂きました。

当日は絶好の晴天に恵まれたことや、本年度2回目の紫電改（実物大の模型）の屋外展示の日でもあり、大勢の見学客に紛れて見学を楽しむことができました。

見学においては、保存会の会長でもある上谷様のご協力を頂き、最初に記念碑前で63名の英霊に対し黙とうを捧げ、`sora かさい、平和学習ミュージアムの見学から始まり、戦艦大和のミニチュア版の見学、防空壕の見学、無蓋掩体壕に展示されている鹿屋航空基地資料館に展示されていたSNJ（練習機）の見学、対空機銃（96式25ミリ対空機銃の実物大模型）銃座の見学、姫路海軍航空隊の門柱と衛兵詰所を見学して終了となりました。

姫路海軍航空隊は昭和18年（1943年）10月に開隊し、昭和20年（1945年）5月に閉隊しました。この間、戦局が悪化する中で特攻隊が編成され、神風特別攻撃隊「白鷺（はくろ）隊」は、5回の出撃で21機の戦闘機と63名の若者が沖縄の空に散っていったそうで

す。滑走路は全長 1200 メートル、幅 60 メートルで、国内に原型を留めて残存する戦争遺跡は鶉野飛行場跡地のみと思われます。

「sora かさい」は、令和 4 年（2022 年）4 月にオープンし、二度と国民を犠牲にする戦争を起こさない・起こさせないため、中学生に対する平和学習が行われているとお聞きしています。また、毎年 10 月第 1 日曜日には、戦死された方々を偲び、平和の式典を行ってられます。

我が東播支部は長年に渡りボランティア活動の一環で、平和祈念の碑の周辺草刈りを行っております。今後も鶉野平和祈念の碑苑保存会から整備要望が届くものと思われます。無理のない範囲で支援できるよう支部役員で協議して進めていきたいと考えます。全ては、貴重な戦争遺跡の維持・管理のため元自衛官の団体として尽力できればと考えております。

今回の参加者の中にも、今度は家族を連れて見学に来ます等のお言葉も頂きました。この記事を読まれて興味がある方は、HP で検索して学習した後に見学されると良いのではないのでしょうか。

兵庫県隊友会東播支部 事務局



屋外展示された紫電改



屋内吊り展示された九七式艦上攻撃機



鶉野平和祈念の碑苑保存会会長 上谷氏



鹿屋航空基地資料館から貸与された SNJ



96 式 25 ミリ対空機銃